

Commupale



フォントの特性を知って活用してみよう!

コミュパレでは「自分たちの想いが伝わる・届けられるデザイン」の作成方法や、印刷物作りのヒントになる情報を発信していきます。前回までのゴシック体や明朝体に続き、今回はデザインをつくる上で活躍する様々な種類のフォントをご紹介します!



フォントを選ぶ3つのポイント

前回までのコミュパレで、明朝体とゴシック体（欧文書体だとセリフ体とサンセリフ体）の特徴や使い分けについてご紹介してきましたが、実際にパソコンに搭載された沢山の種類のフォントから使用するものを選ぶのは迷ってしまいますよね。そこで、「視認性」・「可読性」・「判読性」を高めることを意識したフォント選びのポイントを簡単にご紹介します。



▶視認性重視なら

「ゴシック体」

がおすすめ!

視認性とは「見やすさ」や「認識しやすさ」のこと

▶可読性重視なら

「明朝体」

がおすすめ!

可読性とは「読み取りやすさ」や「理解のしやすさ」のこと

▶判読性重視なら

ユニバーサルデザイン

「UDフォント」

がおすすめ!

判読性とは「判別のしやすさ」や「伝わりやすさ」のこと



フォント選びで変わる

文字の表現力

文字とは言葉を視覚的に表したもので、私たちは文字を見ることでその意味を理解することが出来ます。しかし、文字の形を変えることで、文字は意味以上の情報を表現することが可能になります。例えば、下の文字を見比べてみましょう。

フォント選びで
文字の印象が変わるフォント選びで
文字の印象が変わるフォント選びで
文字の印象が変わるフォント選びで
文字の印象が変わるフォント選びで
文字の印象が変わるフォント選びで
文字の印象が変わる

文字の内容は同じなのでどれも同じ意味を持っていますが、その文字から受ける印象はずいぶんと違っているのではないのでしょうか? まじめそうに見えるもの、上品に見えるもの、豪快に見えるものなど、このように形を変えるだけで文字の表現力をアップさせることが出来ます。さらに、文字色をつけたり動きを加えることで表現の幅はさらに広がり、様々な情報を視覚的に伝えることが出来るようになります。フォントはデザインを考える上で、文字という情報をより分かりやすく伝えるための大切な要素のひとつと言えますね。

お客様が作成された印刷物のご紹介

デザイン作成のヒントが見つかるかも!? ジムブレーションのお客様が実際に作成された印刷物を例に挙げ、「どんな部分にこだわっているのか」「想いを伝えるためにされている工夫」等を皆様にご紹介していきます。

中津川市社会福祉協議会 蛭川支所 様 A3サイズ/片面カラー印刷

どんな印刷物?

利用者の方々にいろいろなイベントの様子をお伝えするために発行しているオリジナルの新聞。

中津川市社会福祉協議会 蛭川支所 (福祉センターやすらぎ荘内)

お客様のこだわり Point 01

イベントの写真などを使いながら、施設内での様子をイメージしやすいようにされているそうです。

ひるかわデイサービス新聞

R5 秋号

お客様のこだわり Point 02

どんなイベントをするのか分かりやすいように、写真に説明文を付けているそうです。



お客様のこだわり Point 03

季節感も伝わりやすいように、挿絵を考えられているそうです。

伝わる印刷物作りのコツ

- ・写真にタイトルをつけて伝えたい内容をより分かりやすく!
- ・イラストを使って視覚的に季節感を表現することが可能に!

